

(一社)北海道商工会議所連合会 中小企業景況調査報告書

第161回 調査概要

- ・調査対象期間 : 2021年1~3月期 実績
2021年4~6月期 見通し
- ・回答数 : 363社
- ・発行日 : 2021年4月26日
- ・調査要領(URL) : <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

今期業況・来期見通し

業況、売上、採算いずれも回復は足踏み状態で、前回見通しを下回る水準で推移
来期は、持ち直しの兆しがみられるものの、依然予断を許さない状況

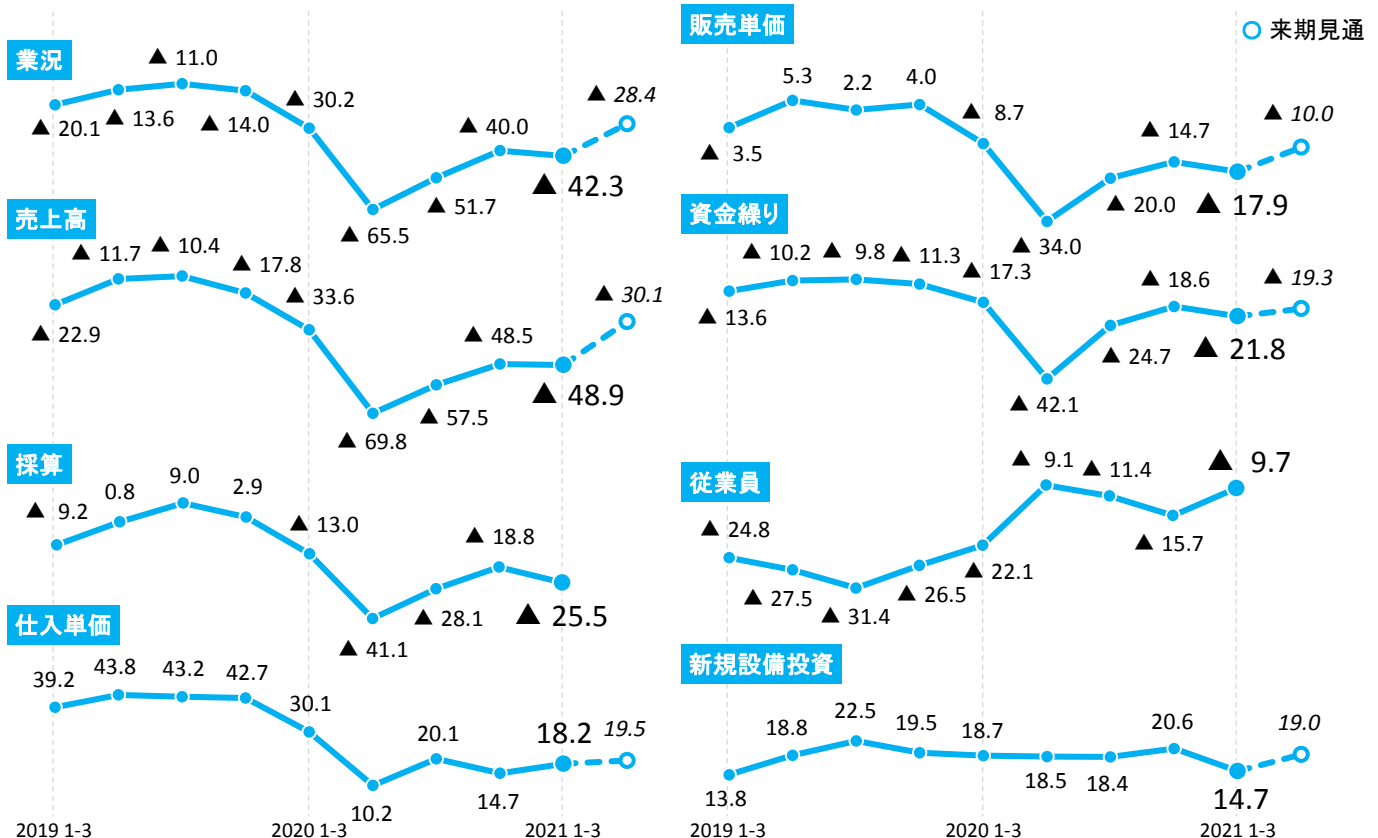
■業種別の主なコメント

- ・新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないとホテル利用は期待できない。
ワクチン普及の動向が気になる。 (宿泊業)
- ・観光地という場所柄、状況が緊急事態宣言によって大きく左右される。
営業の判断、人材の投入、食材の仕入が安定せず苦勞した。 (飲食業)
- ・国の持続化給付金や道、市の給付金等を受給したが、売上の減少分をカバーできず。
利益については大幅に減少し、欠損を見込んでいる。 (ハイヤー業)

■全産業D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 20.1	▲ 13.6	▲ 11.0	▲ 14.0	▲ 30.2	▲ 65.5	▲ 51.7	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 28.4
売上高	▲ 22.9	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 17.8	▲ 33.6	▲ 69.8	▲ 57.5	▲ 48.5	▲ 48.9	▲ 30.1
採算	▲ 9.2	0.8	9.0	2.9	▲ 13.0	▲ 41.1	▲ 28.1	▲ 18.8	▲ 25.5	-
仕入単価	39.2	43.8	43.2	42.7	30.1	10.2	20.1	14.7	18.2	19.5
販売単価	▲ 3.5	5.3	2.2	4.0	▲ 8.7	▲ 34.0	▲ 20.0	▲ 14.7	▲ 17.9	▲ 10.0
資金繰り	▲ 13.6	▲ 10.2	▲ 9.8	▲ 11.3	▲ 17.3	▲ 42.1	▲ 24.7	▲ 18.6	▲ 21.8	▲ 19.3
従業員	▲ 24.8	▲ 27.5	▲ 31.4	▲ 26.5	▲ 22.1	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 9.7	-
新規設備投資	13.8	18.8	22.5	19.5	18.7	18.5	18.4	20.6	14.7	19.0

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。

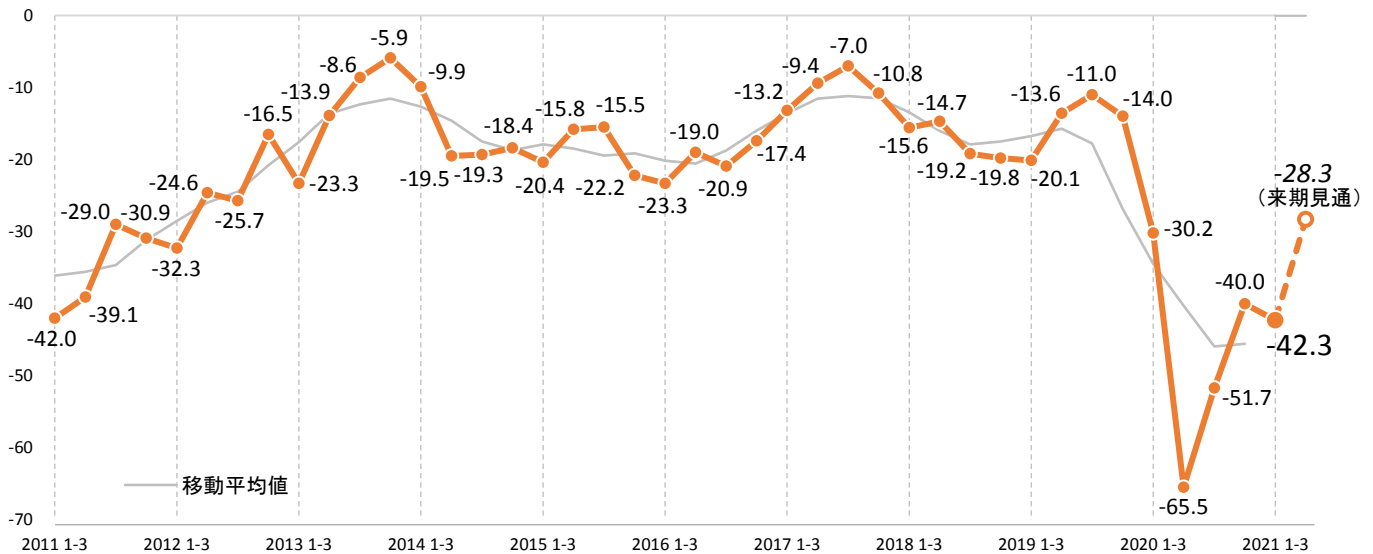


I. 業況

1. 今期

前年同期比 (2020年1~3月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I <<好転-悪化>>



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 42.3	6.7%	44.3%	49.0%	▲ 40.0
製造	▲ 62.1	3.4%	31.1%	65.5%	▲ 51.7
建設	▲ 25.0	8.3%	58.4%	33.3%	▲ 28.6
卸売	▲ 50.0	6.9%	36.2%	56.9%	▲ 45.2
小売	▲ 32.8	9.0%	49.2%	41.8%	▲ 36.7
サービス	▲ 41.4	6.1%	46.4%	47.5%	▲ 37.7

■好転 □不変 ■悪化

前期比 (2020年10~12月期の水準と比較した今期の業況)

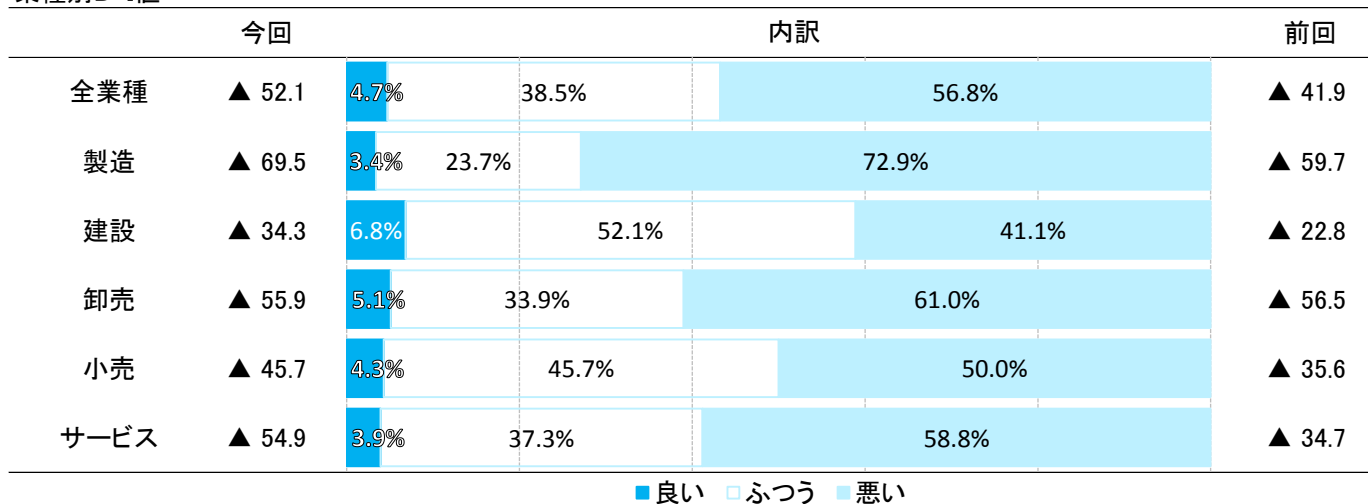
業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 39.8	6.6%	46.9%	46.5%	▲ 20.9
製造	▲ 49.1	0.0%	50.9%	49.1%	▲ 31.3
建設	▲ 28.5	8.6%	54.3%	37.1%	▲ 8.9
卸売	▲ 40.4	10.5%	38.6%	50.9%	▲ 20.0
小売	▲ 38.7	6.5%	48.3%	45.2%	▲ 24.3
サービス	▲ 42.4	7.6%	42.4%	50.0%	▲ 20.2

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準 (2021年1~3月期の水準)

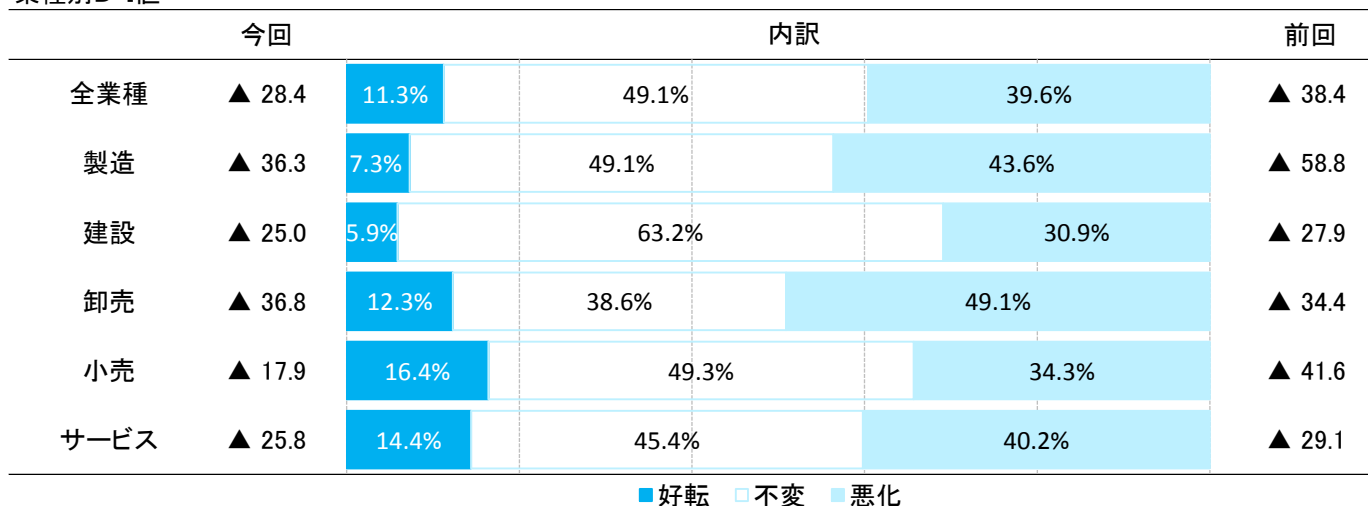
業種別D・I値



2. 来期

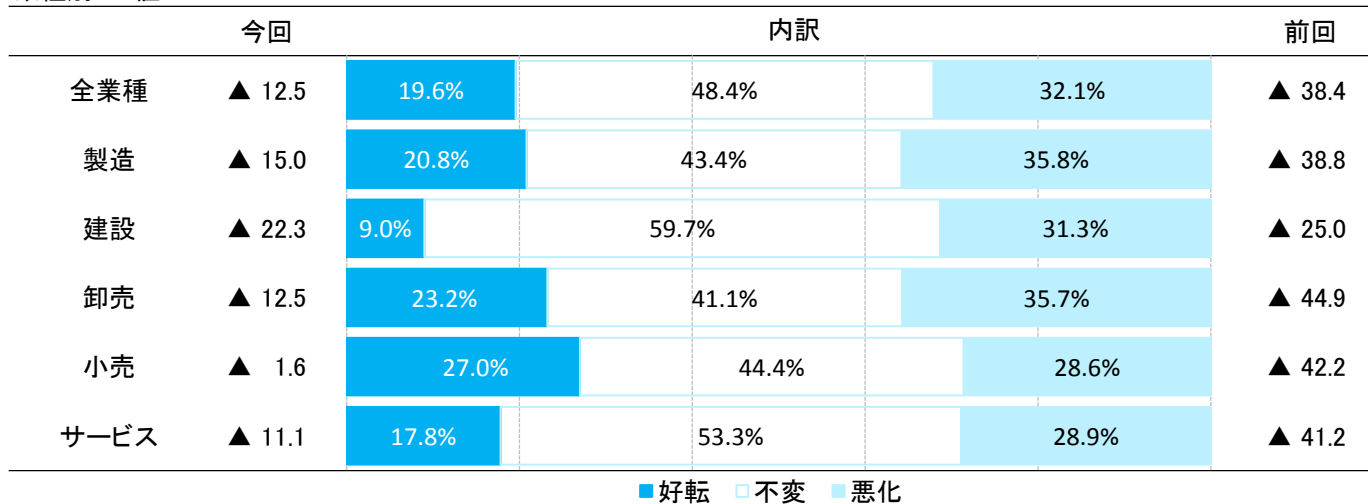
前年同期比 (2020年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値



今期比 (2021年1~3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

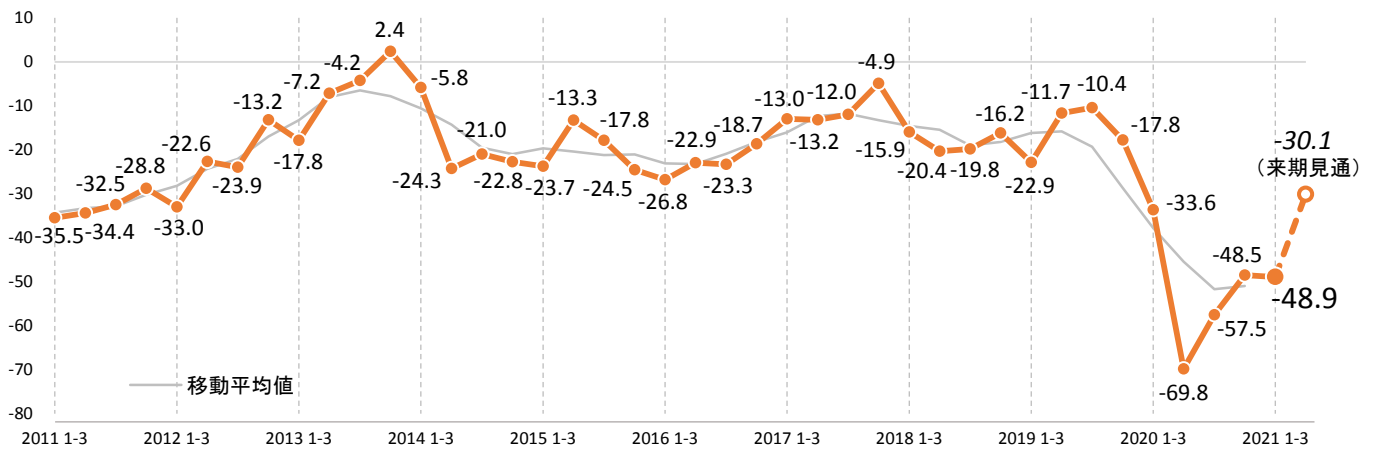


II. 売上高

1. 今期

前年同期比 (2020年1~3月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加ー減少≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 48.9	10.4%	30.4%	59.3%	▲ 48.5
製造	▲ 61.0	6.8%	25.4%	67.8%	▲ 67.3
建設	▲ 36.9	11.0%	41.1%	47.9%	▲ 38.5
卸売	▲ 52.5	10.2%	27.1%	62.7%	▲ 58.1
小売	▲ 39.2	13.0%	34.8%	52.2%	▲ 35.6
サービス	▲ 54.9	10.8%	23.5%	65.7%	▲ 43.0

■ 増加 □ 不変 ■ 減少

前期比 (2020年10~12月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 53.6	9.0%	28.3%	62.7%	▲ 19.8
製造	▲ 64.4	6.8%	22.0%	71.2%	▲ 25.0
建設	▲ 37.5	12.5%	37.5%	50.0%	▲ 8.5
卸売	▲ 56.9	10.3%	22.5%	67.2%	▲ 19.3
小売	▲ 56.5	5.8%	31.9%	62.3%	▲ 26.1
サービス	▲ 52.9	9.8%	27.5%	62.7%	▲ 20.0

■ 増加 □ 不変 ■ 減少

2. 来期

前年同期比 (2020年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 30.1	15.4%	39.1%	45.5%	▲ 45.0
製造	▲ 40.3	12.3%	35.1%	52.6%	▲ 67.2
建設	▲ 34.3	6.8%	52.1%	41.1%	▲ 43.5
卸売	▲ 33.9	16.9%	32.3%	50.8%	▲ 39.3
小売	▲ 5.7	25.7%	42.9%	31.4%	▲ 38.4
サービス	▲ 36.3	15.2%	33.3%	51.5%	▲ 36.4

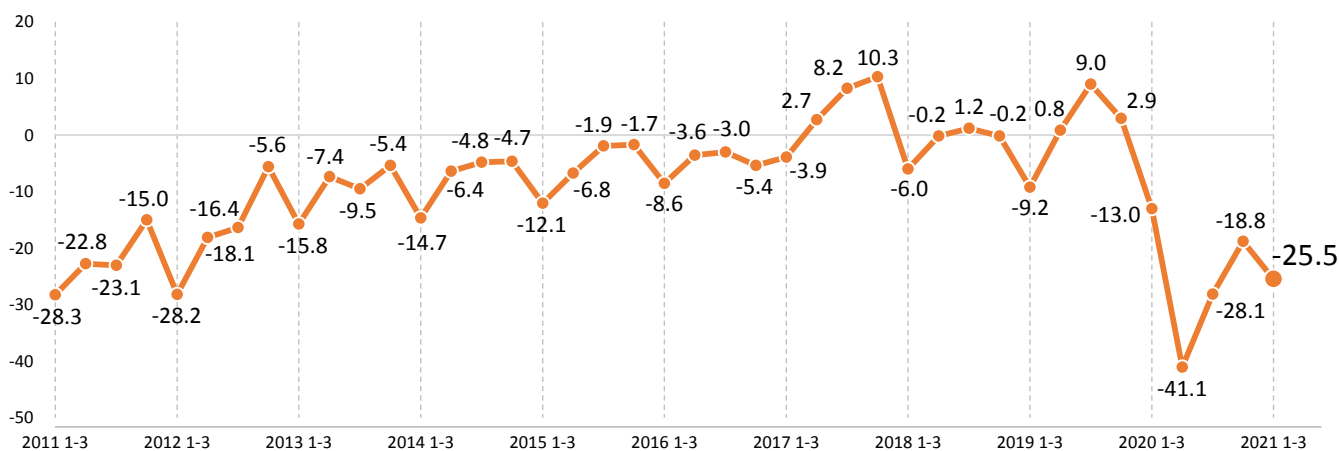
■ 増加 □ 不変 ■ 減少

Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準 (2021年1~3月期の水準)

全業種平均D・I ≪黒字-赤字≫



業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		黒字	赤字	
全業種	▲ 25.5	14.8%	45.0%	▲ 18.8
製造	▲ 33.9	10.2%	45.7%	▲ 31.6
建設	0.0	23.3%	53.4%	▲ 1.4
卸売	▲ 28.8	15.3%	40.6%	▲ 22.6
小売	▲ 32.4	13.2%	41.2%	▲ 13.7
サービス	▲ 32.3	11.8%	44.1%	▲ 24.8

■黒字 □収支トントン ■赤字

前年同期比 (2020年1~3月期の水準と比較した今期の採算)

業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		好転	悪化	
全業種	▲ 39.3	7.3%	46.0%	▲ 42.1
製造	▲ 50.8	8.5%	32.2%	▲ 56.1
建設	▲ 26.0	5.5%	63.0%	▲ 31.9
卸売	▲ 42.3	8.5%	40.7%	▲ 46.8
小売	▲ 30.5	10.1%	49.3%	▲ 37.0
サービス	▲ 47.0	4.0%	45.0%	▲ 38.8

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

来期の水準 (2021年4~6月期の水準)

業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		好転	悪化	
全業種	▲ 28.6	9.6%	52.2%	▲ 39.2
製造	▲ 32.1	12.5%	42.9%	▲ 60.7
建設	▲ 28.8	0.0%	71.2%	▲ 32.8
卸売	▲ 35.6	8.5%	47.4%	▲ 34.4
小売	▲ 20.0	15.7%	48.6%	▲ 37.0
サービス	▲ 26.6	11.2%	51.0%	▲ 31.2

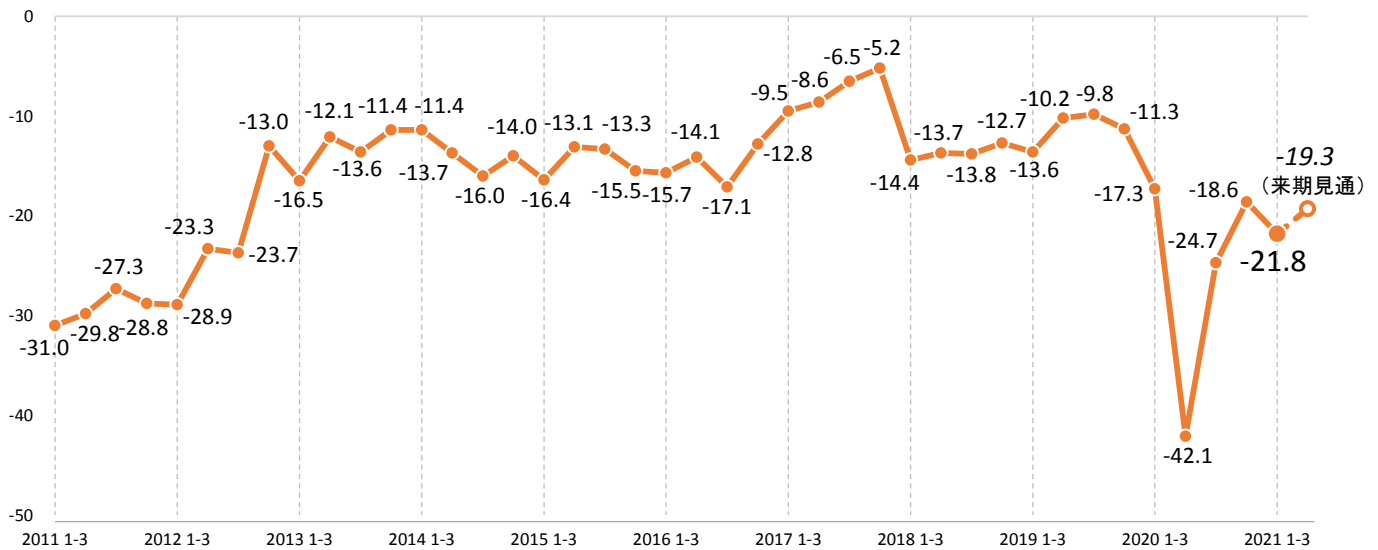
■好転 □不変 ■悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比 (2020年1~3月期の水準と比較した今期の資金繰り)

全業種平均D・I <<好転-悪化>>



業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 21.8	5.6%	67.0%	27.4%	▲ 18.6
製造	▲ 37.3	3.4%	55.9%	40.7%	▲ 29.8
建設	▲ 12.3	4.1%	79.5%	16.4%	▲ 18.9
卸売	▲ 18.6	5.1%	71.2%	23.7%	▲ 14.5
小売	▲ 17.4	7.2%	68.2%	24.6%	▲ 8.6
サービス	▲ 23.4	8.2%	60.2%	31.6%	▲ 21.4

■好転 □不変 ■悪化

2. 来期

前年同期比 (2020年4~6月期の水準と比較した来期の見通し)

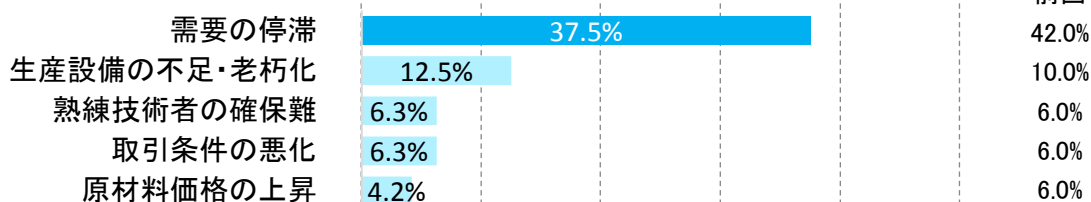
業種別D・I値

業種	今回		内訳		前回
	値	変化率	好転	悪化	
全業種	▲ 19.2	6.2%	68.3%	25.5%	▲ 24.4
製造	▲ 26.3	5.3%	63.1%	31.6%	▲ 38.6
建設	▲ 13.7	1.4%	83.5%	15.1%	▲ 27.1
卸売	▲ 22.0	5.1%	67.8%	27.1%	▲ 16.4
小売	▲ 14.5	10.1%	65.3%	24.6%	▲ 20.3
サービス	▲ 19.6	9.3%	61.8%	28.9%	▲ 19.6

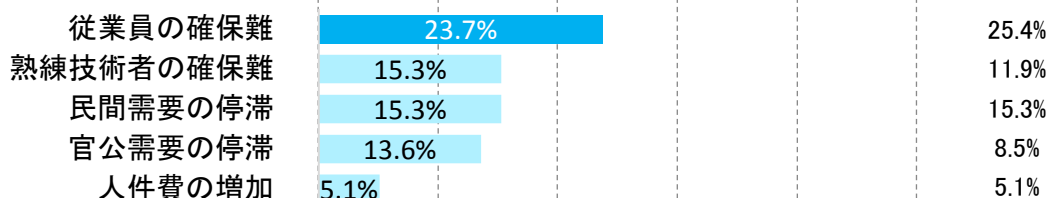
■好転 □不変 ■悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

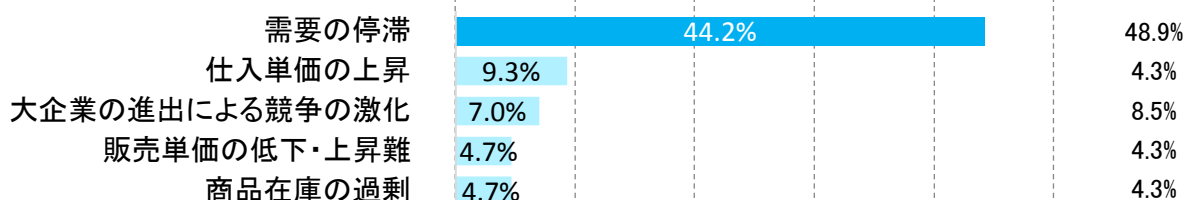
製造業



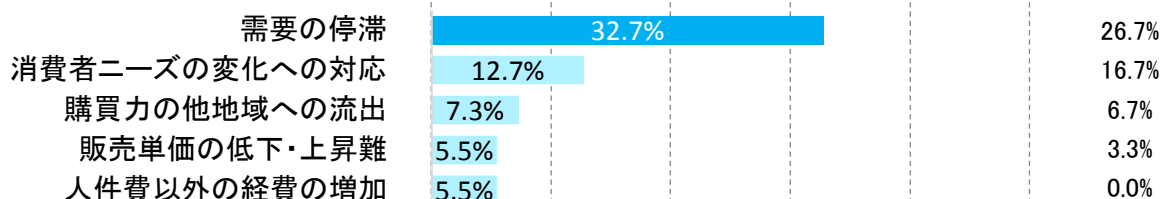
建設業



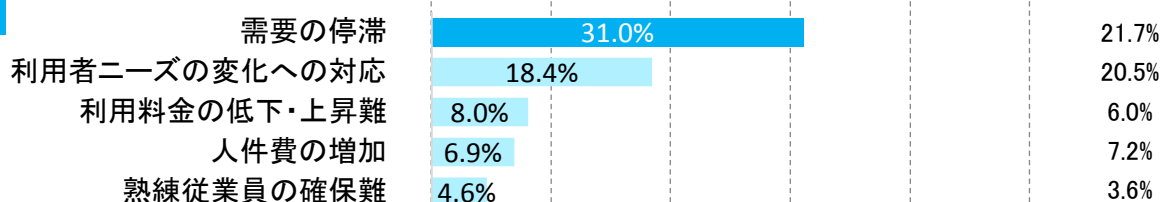
卸売業



小売業



サービス業



VI. 従業員の動向

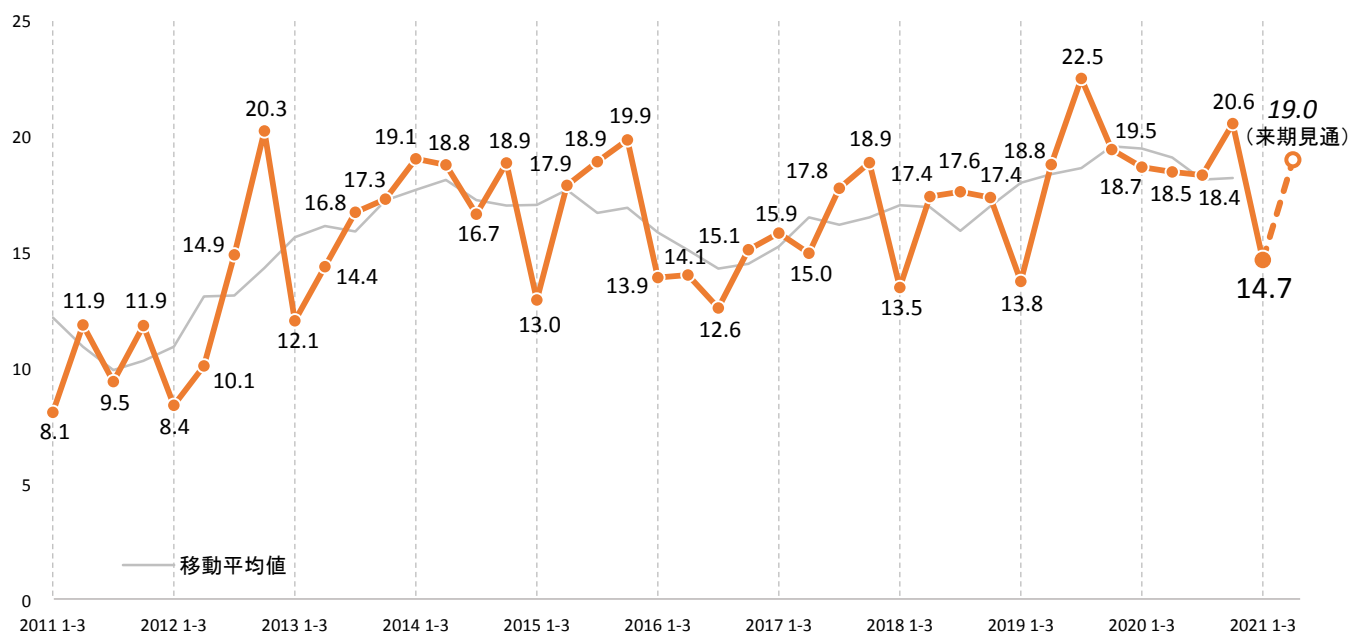
業種別D・I値

業種	今回	内訳		前回
		過剰	不足	
全業種	▲ 9.7	8.6%	18.3%	▲ 15.2
製造	1.7	14.0%	12.3%	▲ 1.8
建設	▲ 29.1	4.2%	33.3%	▲ 33.4
卸売	▲ 3.5	7.0%	10.5%	▲ 15.7
小売	▲ 7.6	6.2%	13.8%	▲ 10.0
サービス	▲ 10.2	11.4%	21.6%	▲ 15.1

■ 過剰 □ 適性 ■ 不足

VII. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	14.7	13.2	19.7	13.2	9.0	18.4
土地	7.6	0.0	7.1	14.3	16.7	0.0
工場建物、建物、店舗	5.9	0.0	7.1	0.0	16.7	5.6
生産・販売・サービス設備、建設機械	22.1	57.1	0.0	14.3	33.3	5.6
車両運搬具	40.8	42.9	71.4	28.6	16.7	44.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	4.3	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0
OA機器	39.5	28.6	42.9	42.9	50.0	33.3
厚生施設	1.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
その他	9.8	0.0	7.1	14.3	0.0	27.8
実施していない	85.3	86.8	80.3	86.8	91.0	81.6

2. 来期

(単位%)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	19.0	25.0	21.1	13.0	16.4	19.6
土地	3.2	0.0	6.7	0.0	9.1	0.0
工場建物、建物、店舗	26.9	28.6	26.7	0.0	63.6	15.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	35.6	64.3	13.3	14.3	54.5	31.6
車両運搬具	26.7	0.0	33.3	28.6	45.5	26.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	19.4	35.7	13.3	42.9	0.0	5.3
OA機器	30.5	35.7	20.0	28.6	36.4	31.6
厚生施設	1.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
その他	9.9	7.1	26.7	0.0	0.0	15.8
実施しない	81.0	75.0	78.9	87.0	83.6	80.4

製造業

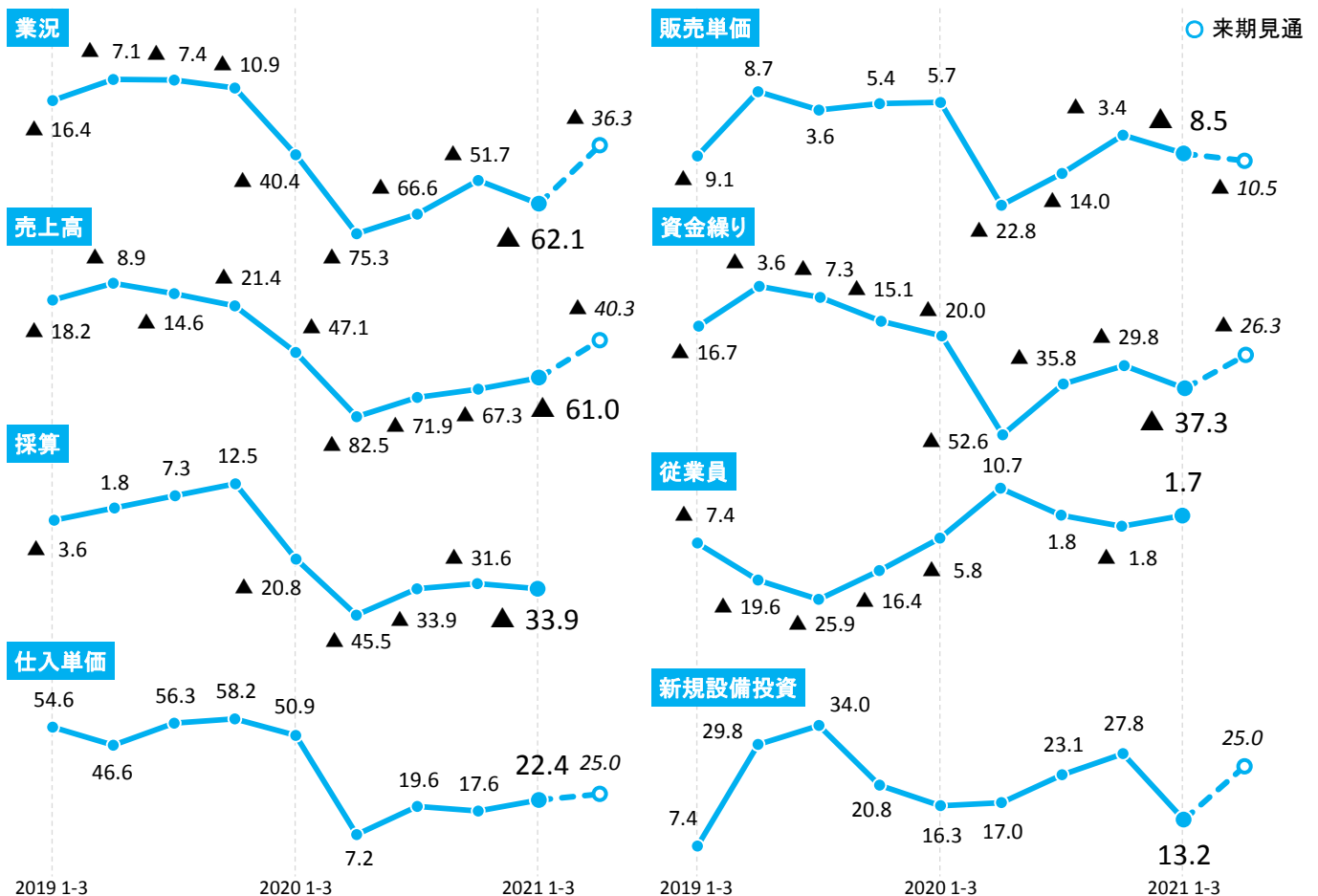
■主なコメント

- ・国内の建築向けの投資が減少傾向にあることや、原材料価格の高騰により業況が悪化した。
(金属製品製造業)
- ・新型コロナウイルスの影響で、OEMの受注が減少したが、通販での売上が好調だったため、前年と同程度の売上を確保できた。物流コストの増加や調味料、香料等の仕入額が増加したため原価比率が上昇した。
(食品品製造業)
- ・前年同期と比較し、売上、資材価格、資材数量、経費のいずれも変わらなかった。
結果として、今期の利益は前期とほぼ同等と見込んでいる。
(印刷業)

■D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 16.4	▲ 7.1	▲ 7.4	▲ 10.9	▲ 40.4	▲ 75.3	▲ 66.6	▲ 51.7	▲ 62.1	▲ 36.3
売上高	▲ 18.2	▲ 8.9	▲ 14.6	▲ 21.4	▲ 47.1	▲ 82.5	▲ 71.9	▲ 67.3	▲ 61.0	▲ 40.3
採算	▲ 3.6	1.8	7.3	12.5	▲ 20.8	▲ 45.5	▲ 33.9	▲ 31.6	▲ 33.9	-
仕入単価	54.6	46.6	56.3	58.2	50.9	7.2	19.6	17.6	22.4	25.0
販売単価	▲ 9.1	8.7	3.6	5.4	5.7	▲ 22.8	▲ 14.0	▲ 3.4	▲ 8.5	▲ 10.5
資金繰り	▲ 16.7	▲ 3.6	▲ 7.3	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 52.6	▲ 35.8	▲ 29.8	▲ 37.3	▲ 26.3
従業員	▲ 7.4	▲ 19.6	▲ 25.9	▲ 16.4	▲ 5.8	10.7	1.8	▲ 1.8	1.7	-
新規設備投資	7.4	29.8	34.0	20.8	16.3	17.0	23.1	27.8	13.2	25.0

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



建設業

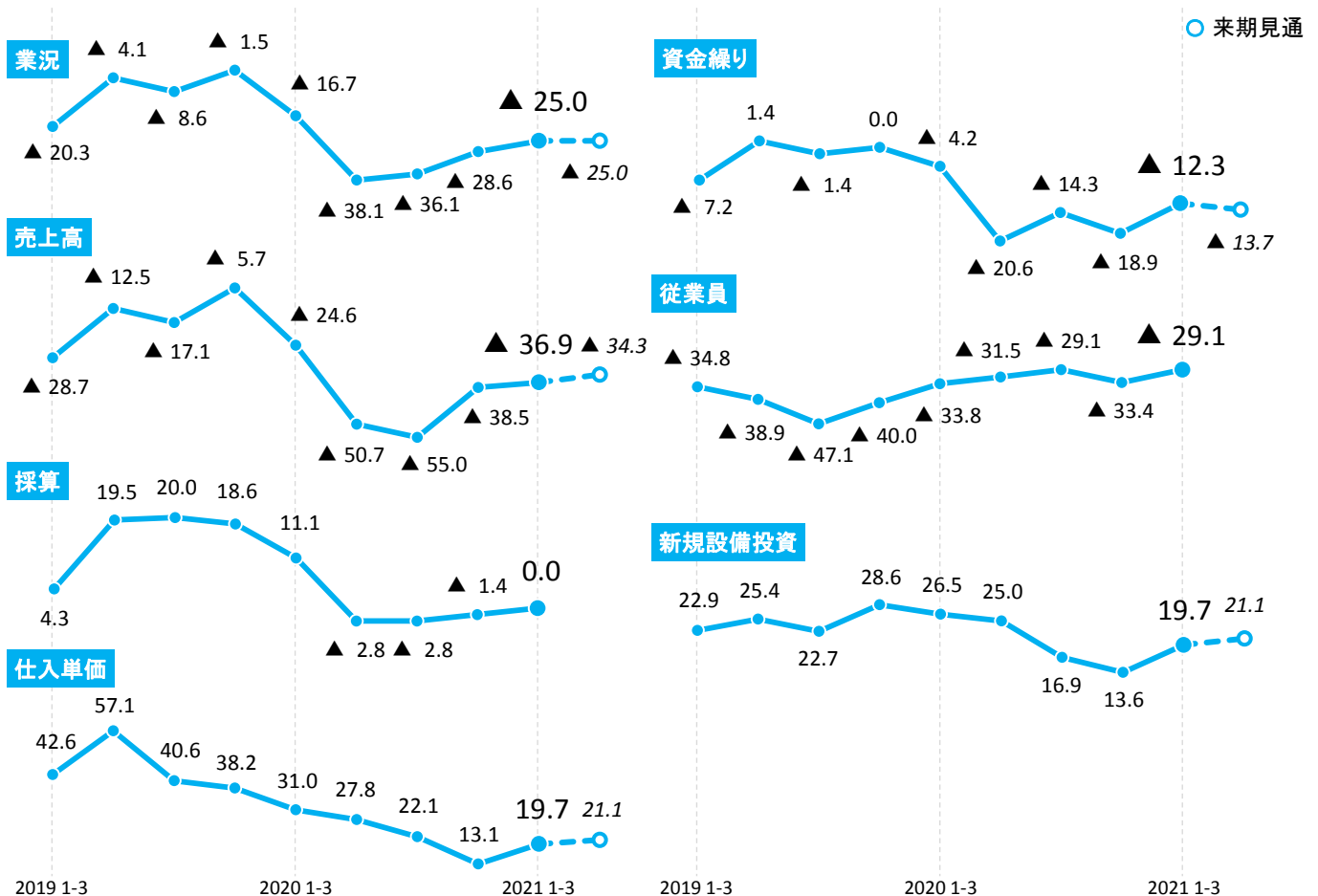
■主なコメント

- ・民間建築需要はポストコロナで確実に減少すると思われる。公共の下支えも期待できず、来期以降の完工高は低迷していく予定。(総合工事業)
- ・若い働き手がない。管工事業は生活の上で大切な仕事ではあるが、3Kの職業であるので担い手がない。交代制や手厚い手当等、会社自体の体制を変えていく必要があると考えている。(一般管工事業)
- ・国内での採用は難しい。外国人を技能実習生として採用し、移住を考えてもらうことも必要。(建築工事業)

■D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 20.3	▲ 4.1	▲ 8.6	▲ 1.5	▲ 16.7	▲ 38.1	▲ 36.1	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 25.0
売上高	▲ 28.7	▲ 12.5	▲ 17.1	▲ 5.7	▲ 24.6	▲ 50.7	▲ 55.0	▲ 38.5	▲ 36.9	▲ 34.3
採算	4.3	19.5	20.0	18.6	11.1	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 1.4	0.0	-
仕入単価	42.6	57.1	40.6	38.2	31.0	27.8	22.1	13.1	19.7	21.1
販売単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 7.2	1.4	▲ 1.4	0.0	▲ 4.2	▲ 20.6	▲ 14.3	▲ 18.9	▲ 12.3	▲ 13.7
従業員	▲ 34.8	▲ 38.9	▲ 47.1	▲ 40.0	▲ 33.8	▲ 31.5	▲ 29.1	▲ 33.4	▲ 29.1	-
新規設備投資	22.9	25.4	22.7	28.6	26.5	25.0	16.9	13.6	19.7	21.1

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
 ※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

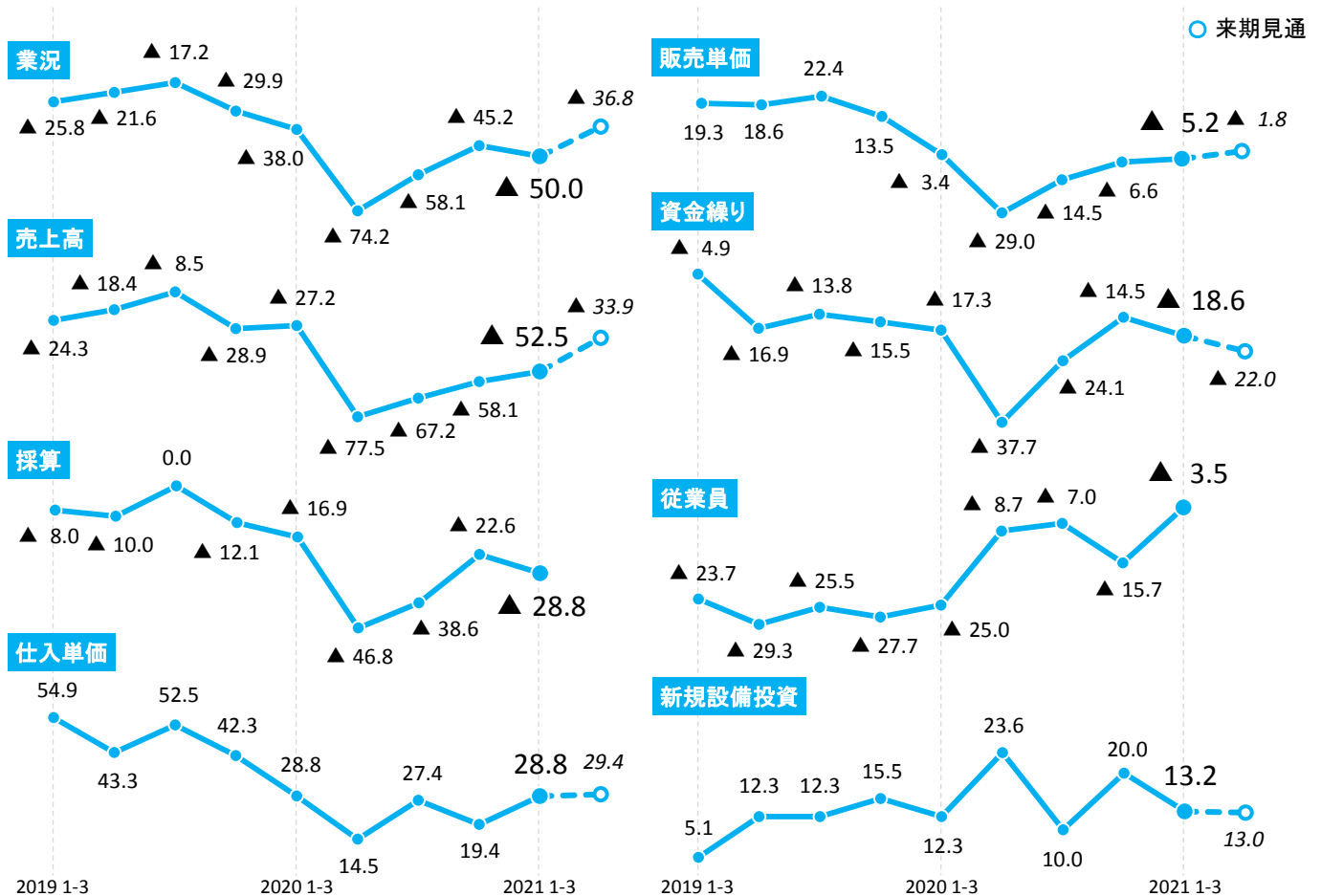
■主なコメント

- ・物流におけるコストアップが納品価格に転嫁できていない。また、本州から入荷する商品について、天候不順等の影響で延着する可能性を見越し、在庫を多めに持つ場面が増えている。
(生鮮魚介卸売業)
- ・原油価格が上昇し、価格転嫁が難しい状況ではあるが、寒さが厳しかったこともあり、販売数量は確保できた。
(石油卸売業)
- ・昨年から着工している大型工事物件は資材単価が上昇しているが販売単価を上げることができないため採算悪化。民間工事物件が減少する可能性が高いため、今期は売上が厳しくなる見込み。
(機械鋼材卸売業)

■D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 25.8	▲ 21.6	▲ 17.2	▲ 29.9	▲ 38.0	▲ 74.2	▲ 58.1	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 36.8
売上高	▲ 24.3	▲ 18.4	▲ 8.5	▲ 28.9	▲ 27.2	▲ 77.5	▲ 67.2	▲ 58.1	▲ 52.5	▲ 33.9
採算	▲ 8.0	▲ 10.0	0.0	▲ 12.1	▲ 16.9	▲ 46.8	▲ 38.6	▲ 22.6	▲ 28.8	-
仕入単価	54.9	43.3	52.5	42.3	28.8	14.5	27.4	19.4	28.8	29.4
販売単価	19.3	18.6	22.4	13.5	▲ 3.4	▲ 29.0	▲ 14.5	▲ 6.6	▲ 5.2	▲ 1.8
資金繰り	▲ 4.9	▲ 16.9	▲ 13.8	▲ 15.5	▲ 17.3	▲ 37.7	▲ 24.1	▲ 14.5	▲ 18.6	▲ 22.0
従業員	▲ 23.7	▲ 29.3	▲ 25.5	▲ 27.7	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 7.0	▲ 15.7	▲ 3.5	-
新規設備投資	5.1	12.3	12.3	15.5	12.3	23.6	10.0	20.0	13.2	13.0

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は今期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



小売業

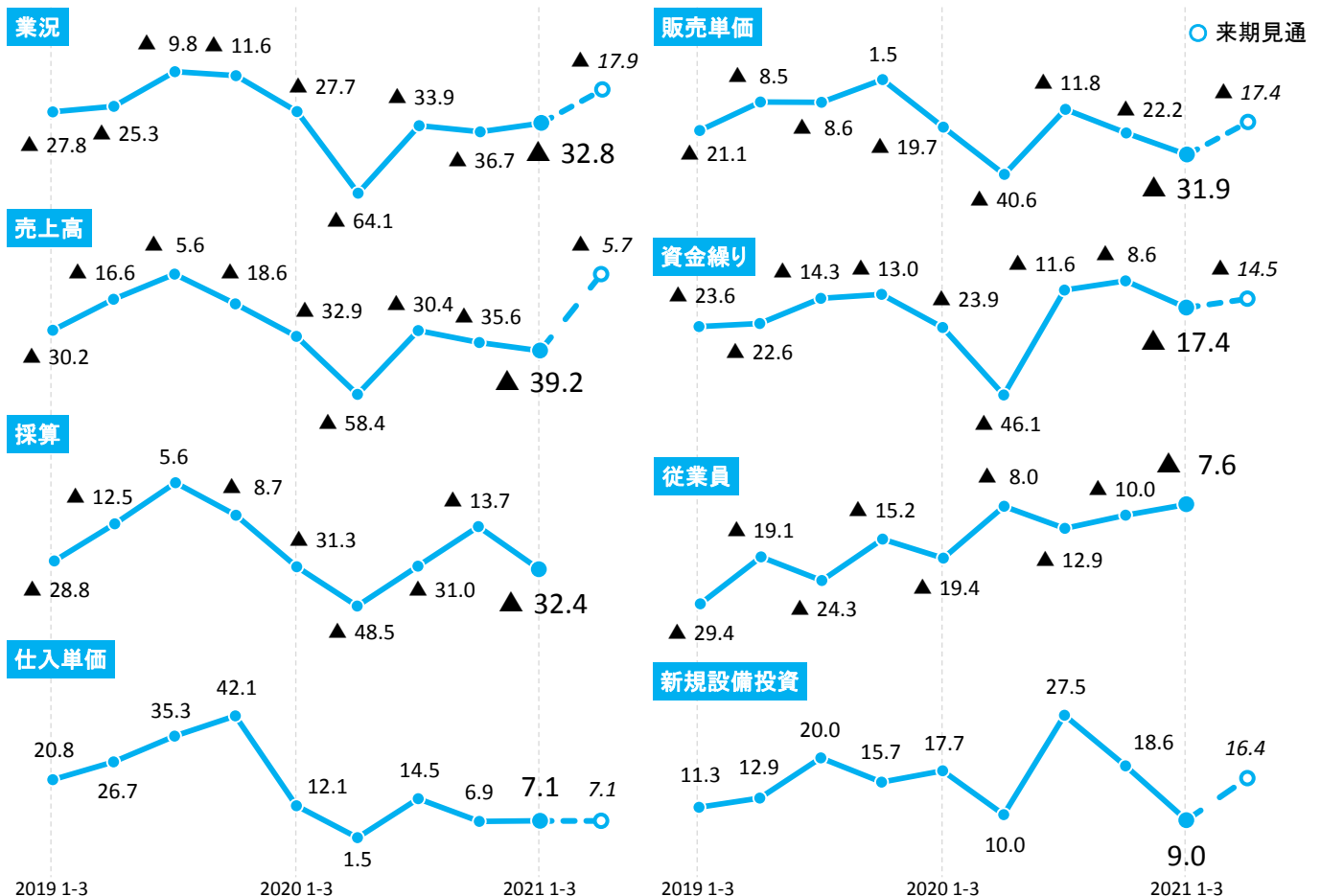
■主なコメント

- ・飲食店の営業自粛や宿泊施設の利用者減少によって売上が大きく減少した。
一般家庭の需要も落ち着きつつある。ネット販売は東京周辺の利用者が減少したため低調だった。 (食料品小売業)
- ・客数が減少したにも関わらず、客単価が上昇し、売上がやや伸びた。新型コロナウイルスの影響から外食が減り、家庭内で高級魚を食べる消費者が増えたためと考えている。 (鮮魚小売業)
- ・非常事態宣言による地方からのお客様の激減、Go To キャンペーン停止による客数の大幅減少と、厳しい経営環境が続いている。 (食料品小売業)

■D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 27.8	▲ 25.3	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 27.7	▲ 64.1	▲ 33.9	▲ 36.7	▲ 32.8	▲ 17.9
売上高	▲ 30.2	▲ 16.6	▲ 5.6	▲ 18.6	▲ 32.9	▲ 58.4	▲ 30.4	▲ 35.6	▲ 39.2	▲ 5.7
採算	▲ 28.8	▲ 12.5	5.6	▲ 8.7	▲ 31.3	▲ 48.5	▲ 31.0	▲ 13.7	▲ 32.4	-
仕入単価	20.8	26.7	35.3	42.1	12.1	1.5	14.5	6.9	7.1	7.1
販売単価	▲ 21.1	▲ 8.5	▲ 8.6	1.5	▲ 19.7	▲ 40.6	▲ 11.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 17.4
資金繰り	▲ 23.6	▲ 22.6	▲ 14.3	▲ 13.0	▲ 23.9	▲ 46.1	▲ 11.6	▲ 8.6	▲ 17.4	▲ 14.5
従業員	▲ 29.4	▲ 19.1	▲ 24.3	▲ 15.2	▲ 19.4	▲ 8.0	▲ 12.9	▲ 10.0	▲ 7.6	-
新規設備投資	11.3	12.9	20.0	15.7	17.7	10.0	27.5	18.6	9.0	16.4

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

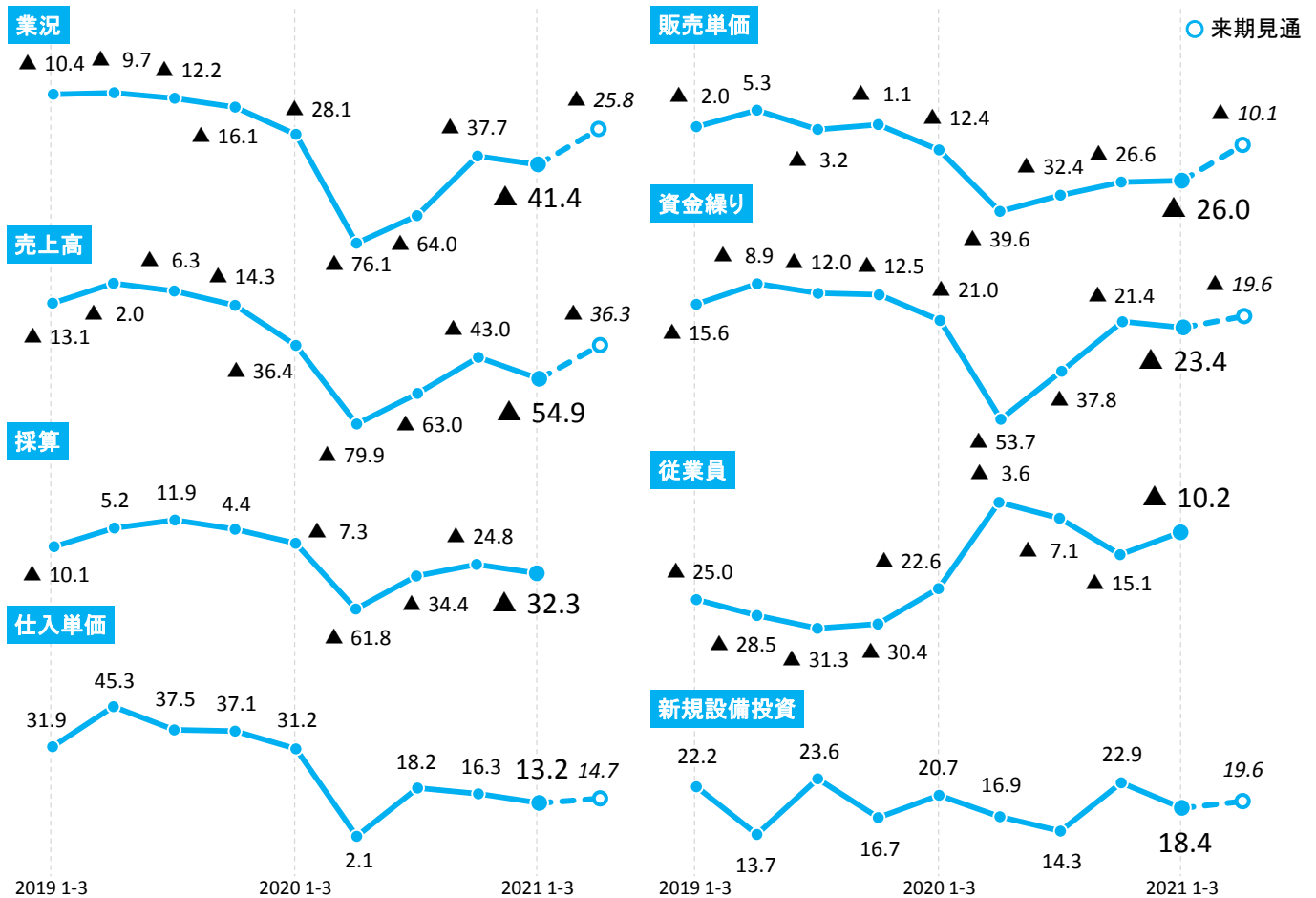
■主なコメント

- ・新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たないとホテル利用は期待できない。
ワクチン普及の動向が気になる。 (宿泊業)
- ・観光地という場所柄、状況が緊急事態宣言によって大きく左右される。
営業の判断、人材の投入、食材の仕入が安定せず苦勞した。 (飲食業)
- ・国の持続化給付金や道、市の給付金等を受給したが、売上の減少分をカバーできず。
利益については大幅に減少し、欠損を見込んでいる。 (ハイヤー業)

■D・I

	2019 1-3	2019 4-6	2019 7-9	2019 10-12	2020 1-3	2020 4-6	2020 7-9	2020 10-12	2021 1-3	2021 4-6(見通)
業況	▲ 10.4	▲ 9.7	▲ 12.2	▲ 16.1	▲ 28.1	▲ 76.1	▲ 64.0	▲ 37.7	▲ 41.4	▲ 25.8
売上高	▲ 13.1	▲ 2.0	▲ 6.3	▲ 14.3	▲ 36.4	▲ 79.9	▲ 63.0	▲ 43.0	▲ 54.9	▲ 36.3
採算	▲ 10.1	5.2	11.9	4.4	▲ 7.3	▲ 61.8	▲ 34.4	▲ 24.8	▲ 32.3	-
仕入単価	31.9	45.3	37.5	37.1	31.2	2.1	18.2	16.3	13.2	14.7
販売単価	▲ 2.0	5.3	▲ 3.2	▲ 1.1	▲ 12.4	▲ 39.6	▲ 32.4	▲ 26.6	▲ 26.0	▲ 10.1
資金繰り	▲ 15.6	▲ 8.9	▲ 12.0	▲ 12.5	▲ 21.0	▲ 53.7	▲ 37.8	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 19.6
従業員	▲ 25.0	▲ 28.5	▲ 31.3	▲ 30.4	▲ 22.6	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 15.1	▲ 10.2	-
新規設備投資	22.2	13.7	23.6	16.7	20.7	16.9	14.3	22.9	18.4	19.6

※業況、売上高、仕入単価、販売単価、資金繰りについては前年同期比、その他は当期水準を掲載した。
※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2021年3月
(2) 調査対象期間 2021年1～3月期実績及び2021年4～6月期見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	56	39	62	73	274
中規模	15	17	20	8	29	89
合計	59	73	59	70	102	363
構成比	16.3%	20.1%	16.3%	19.3%	28.1%	100.0%

〈業界動向調査〉

ヒアリング先

製造業 40社、建設業 29社、卸売業 23社、
小売業 36社、サービス業 57社 合計 185社

■過去の調査結果はコチラ →



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。